

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 8 月 11 日 (2011.8.11)

【公開番号】特開 2010-7023 (P2010-7023A)
 【公開日】平成 22 年 1 月 14 日 (2010.1.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-002
 【出願番号】特願 2008-170828 (P2008-170828)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

B 3 2 B 27/36

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウレタンアクリレート単位を有するポリマーを含む、第 1 及び第 2 の主表面を備えたコア層であって、前記ポリマーのガラス転移温度 (T_g) が 0 未満である、コア層と；

前記コア層の第 1 主表面に積層された第 1 の接着層であって、硬化性である第 1 の接着層と、

前記コア層の第 2 主表面に積層された第 2 の接着層と

を含む、接着シート。

【請求項 2】

前記ポリマーの貯蔵弾性率 E' が、0 で $5.0 \times 10^5 \sim 3.0 \times 10^8$ Pa、80 で $5.0 \times 10^5 \sim 3.0 \times 10^8$ Pa であって、かつ前記ポリマーの損失正接 tan δ が、0 で 0.15 以上、80 で 0.25 以下である、請求項 1 に記載の接着シート。

【請求項 3】

前記ポリマーが、ポリエーテル、ポリエステル、ポリカーボネート及びそれらの組み合わせからなる群から選択されるポリマー骨格を含む、請求項 1 に記載の接着シート。

【請求項 4】

前記ポリマーが、前記ポリマーの質量を基準として 20 ~ 70 質量%の極性基含有単位をさらに含む、請求項 1 に記載の接着シート。

【請求項 5】

前記第 1 の接着層が熱硬化性接着層である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の接着シート。

【請求項 6】

前記第 2 の接着層が熱硬化性接着層である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の接着シート。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の接着シートの前記第 2 の接着層に接着された取り

付け面を含む物品。

【請求項 8】

自動車と組み合わせられた請求項 7 に記載の物品であって、当該物品が前記接着シートの前記第 1 の接着層によって前記自動車に接着されている、物品。